

コミュニティ  
いばらき

見どころ  
いっぱい

# 水郷 潮来



水郷潮来あやまつり 6/1(金)~6/24(日)

近年、全国各地で観光ボランティアガイド活動が活発になっています。最近では地域の紹介にとどまらず、地域づくりに貢献するなど、地域の活性化や交流に果たす役割の重要性はますます高まっています。



見どころ  
いっぱい!

水郷潮来を、  
観光ボランティア  
ガイドさんと散策

あやめで有名な潮来市は、古くから文人墨客が訪れた情緒漂う水郷の街です。ここで観光ボランティアガイドの活動をしているのが、「水郷潮来観光ボランティア連絡協議会」の皆さんです。いつでも、前川あやめ園や長勝寺など市内の名所を巡るコースを案内してくれます。

実際に、会長の山澤幸次さんと事務局長の加治行朗さんのガイドで、約一時間の行程の観光モデルコースを散策してみました。最初に訪れたのは、長勝寺。ここでの見どころを伺うと、「こけらぶきの山門から茅ぶき屋根の重厚な本堂まで続く参道

と、国指定文化財の銅鐘が納められている鐘楼」ということでした。入母屋造の本堂と山門は見事です。

次の目的地は、潮来市立水郷まちなかギャラリー。あやめまつり期間は、「水彩画の巨匠 水郷が生んだ 画家小堀進展」が開催されます。(入場無料)

そして、町並みを眺めながら川沿いを歩いてたどり着くのが、前川あやめ園です。水郷潮来あやめまつりは、前川あやめ園をメイン会場に、浅間下あやめ園などで開催され約五百種、百万本の可憐なあやめが咲き誇る風景はまさに絶景。毎年、多くの観光客を楽しませています。「昔ながらの嫁入り舟の見学や、あやめ



園の隣の前川をサツパ舟で遊覧する十二橋めぐりなどで、水郷の風情を満喫してください」と事務局長の加治さん。

「潮来の素晴らしさを、たくさんの方々に知ってほしいです。そのためにも、観光ボランティアガイドの養成に力を入れ、会員を増やしていきたいです。潮来自慢の見どころをおもてなしの心を込めてご案内していきますので、ぜひご利用ください」と、会長の山澤さんは話していました。県内には二十一の観光ボランティアガイドの活動団体があり、それぞれの地域で、心に残る旅のお手伝いをしています。



心を込めてご案内します

岡山観光物産課  
☎029(301)3622  
FAX3620

## 観光 ボランティアガイド

### 県北地区

- 日立のまち案内人 ☎0294(23)9165 FAX0294(24)5200
- 常陸太田まちかど案内人の会 ☎0294(72)3745 FAX0294(72)9745
- 史跡ガイド「案者の会」 ☎029(274)5135 FAX029(275)0606
- 奥久慈大子七福神めぐり案内ガイド ☎0295(77)0640 FAX0295(77)0640
- 花園ガイドグループ ☎0293(42)0782 FAX0293(42)7666
- 五浦ガイドグループ ☎0293(42)0782 FAX0293(42)7666
- 高萩ふるさと案内人の会 ☎0293(23)7316 FAX0293(24)0006

### 県央地区

- 市民観光ボランティア「歴史アドバイザー水戸」 ☎029(224)0441 FAX029(224)0442
- 水戸黄門愛好会 ☎029(255)1658 FAX029(255)1934
- 観光ボランティア大洗「ほのぼの」 ☎029(266)2647 FAX029(267)3428
- 笠間ふるさと案内人 ☎0296(72)9222 FAX0296(72)9211
- 鹿嶋ふるさとガイドの会 ☎0299(82)7730 FAX0299(83)8800
- 水郷潮来観光ボランティア連絡協議会 ☎0299(93)1111 FAX0299(93)3591

### 県南地区

- 土浦市観光ボランティアガイド協会 ☎029(824)2810 FAX029(824)2819
- 石岡市歴史ボランティアの会 ☎0299(23)2698 FAX0299(23)3388 (石岡市民俗資料館) (常陸風土記の丘事務所)
- 石岡市八郷すてき旅案内人の会 ☎0299(43)2115 FAX0299(43)2115
- 牛久市観光アドバイザー ☎029(874)5554 FAX029(871)0111

### 県西地区

- 古河市観光ボランティアガイド協会 ☎0280(23)0030 FAX0280(23)0031
- 結城市観光ボランティアガイド協会 ☎0296(32)1111 FAX0296(32)7123
- みづかいごう千姫観光案内人 ☎0297(22)2121 FAX0297(22)2124
- 桜川市真壁町並み案内ボランティア ☎0296(55)1111 FAX0296(54)0417

# 水郷の工芸品

## あやめ笠



茨城県郷土工芸品

潮来市シルバー人材センターでは、郷土工芸品の「あやめ笠」を製作しています。い草を編んで作るこの笠は、水郷地方では古くから農作業に欠かせない必需品で、日よけ、雨よけ、さらには悪事を避け身を守る笠として大切にされてきました。

しかし近年は笠を編む人も少なくなつたことから、郷土の工芸品を復活させるため、シルバー人材センターの七人の女性が熟練者から指導を受けて技術を習得し、笠作りに取り組んでいます。あやめ笠は大・中・小の三種類、さらに風鈴付きの小さい笠もあり人気です。四月から五月にかけて二つ手作り製作し、六月のあやめまつり会場で販売されます。



## 繁昌笠



茨城県郷土工芸品

江戸時代から日よけや雨よけ、悪事災難から身を守る笠として作られてきた「繁昌笠」。い草と竹ひごで編まれた笠は軽く、主に農作業に携わる人たちの強い味方として活躍してきました。

すべて手作業のため、二つ作るのに二時間以上、忍耐力と技術を要します。現在は、行方市繁昌の郡司まきさんお一人が作り続けています。

